

科 目 名	必修／選択	単位数	学 年	学科
日本史探究	選択	3	2	普通科

科目の概要	古代から現代における日本の歴史を通史で学習する。その中から内容としては歴史の考察。原始・古代の社会・文化と東アジア。中世の社会・文化と東アジア。近世の社会・文化と国際関係について学びを深める。 政治史を中心としつつも、文化史、経済史など多様な分野についても学習を行う。事象の暗記・知識の習得にとどまらず、歴史的思考力の育成や史料活用の育成も重視する。			
教材名	教科書	詳説 日本史（山川出版社）		
	副教材	図説日本史通覧（帝国書院） 日本史重要語句Check List新日本史要点ノート（応用編） 新日本史要点ノート（応用編）（啓隆社）		
担当者	菊地聡			
学習到達目標	①我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 ②我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 ③我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。			
学習方法	①講義とワークシート作成を通じて歴史的事項を理解する知識を養います。 ②グループワークを通じて資料の読み取り意見をまとめる力を養います。			
評価の方法 及び 評価基準 と 評価規準 ルーブリック		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	評価方法	・定期考査 ・単元テスト	・定期考査 ・演習ノート ・課題ワークシート	・課題の提出状況 ・授業に対する姿勢 ・演習ノート
	A	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能が身についている。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力が身についている。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。

	B	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を調べまとめる技能を身につけるようとしている。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明することができる。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。
	C	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しようとしている。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明しようとしている。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。

年 間 学 習 計 画

月	章 ・ 単元	学習内容・目標等	時数	備考 (テスト・講習等)
4	第1章 日本文化のあけぼの 1 文化の始まり	①人類文化の発生を考え、日本列島における旧石器文化・縄文文化の時代の社会を理解する。 ②打製石器・磨製石器・縄文土器の発掘、竪穴住居の状況など考古学の成果によって教科書の叙述が成り立っていることに気づく。	1 1	・ 単元テスト ・ ワークシート ・ グループ学習
	2 農耕社会の成立	①大陸からの稲作伝播の様子や地域性の顕著な道具の分布を踏まえて、弥生文化の形成を考察する。 ②集落・墓の変容から富の蓄積を理解し、小国が形成される過程を東アジア世界との交流と関連づけて考察する。 ③原始社会の特色についての考察を踏まえ、時代を通観する問いを表現する。	2 2 2	
5	第2章 古墳とヤマト政権 1 古墳文化の展開	①地域の首長の出現から統一国家に至る過程を、古墳の変容からとらえる。 ②ヤマト政権による国家の形成過程について、東アジア世界との関係を踏まえて考察する。 ③古墳時代後期から終末期の変容と、ヤマト政権の政治制度を理解する。	2 2 2	
	2 飛鳥の朝廷	①ヤマト政権の権力争いや大陸文化の摂取に着目して、飛鳥時代を考察する。 ②飛鳥文化に世界の諸地域の文化の影響がみられることを理解する。	2 2	
6	第3章 律令国家の形成 1 律令国家への道	①律令国家が成立するまでの政治過程について考察する。 ②律令にもとづく国内統治体制について理解する。	2 2	・ 単元テスト ・ ワークシート ・ グループ学習
	2 平城京の時代	①律令体制の完成期としての奈良時代を、律令体制の状況を多角的・多面的にとらえて考察する。 ②平城京における政治動向について、土地政策も含めて考察する。	2 1	
	3 律令国家の文化	①律令国家の成立期に当たる白鳳文化の形成過程について考察する。 ②天平文化における政治性と国際性、国家仏教の展開などに着目して、古代国家の展開を理解する。	2 2	
	4 律令国家の変容	①平安前期を中心とした古代国家の推移について、東北経営や政治改革、地方統治の変容を踏まえて、律令体制の変質を考察する。 ②東アジアとの関係を踏まえて、唐風文化である弘仁・貞観文化を理解する。	2 2	
	第4章 貴族政治の展開 1 摂関政治	①藤原氏による摂関政治の成立過程と政治運営への影響について考察する。 ②日本と東アジアとの関係において、民間の貿易や交流が中心となったことをと	2 2	・ 提出物

7	2 国風文化	らえる。 ①大陸文化の消化と末法思想を前提とした新しい貴族文化として、国風文化が展開されたことを理解する。	2	
	3 地方政治の展開と武士	②摂関政治の在り方と文化の展開に、どのような関係があるかを考察する。 ①律令制にもとづく地方統治体制の崩れへの対応が、公領支配の変質、荘園の拡大をもたらした経過を考察する。 ②地方の反乱やその鎮圧など、武士の成長過程について、源氏などを例にとって考察する。	1 2 2	
8	第5章 院政と武士の躍進			
	1 院政の始まり	①院政期前後の土地支配形態を踏まえて、院政期の政治・経済・社会・文化を理解する。 ②外戚関係や人材登用など、後三条天皇が摂関家に遠慮せず改革を進めた背景を考察する。	2 2	
9	2 院政と平氏政権	①政治の動向、国際関係・経済・文化への対応を踏まえて、平氏政権の特性について考察する。 ②古代から中世への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。	2 2	・定期考査 ・提出物
	第6章 武家政権の成立			
	1 鎌倉幕府の成立	①鎌倉幕府が東国の地方政権から全国的な武家政権に成長していく過程を理解する。 ②鎌倉幕府の成立時期をめぐる諸説に関して、それぞれの根拠を明確にして考察する。	1 1 2	
	2 武士の社会	①承久の乱にともなう公武関係の変化に着目して、将軍独裁体制から執権政治の確立に至る過程を理解する。 ②武士の生活と地方支配を通じて、土地に対する実質的な支配権を地頭が掌握するに至った過程を考察する。	1 2	
10	3 モンゴル襲来と幕府の衰退	①モンゴル襲来による政治・経済・文化への影響が、幕府の衰退につながっていくことを理解する。 ②非御家人に対する権限拡大など、幕府勢力が西国に浸透したことの意義を考察する。	2 2	
	4 鎌倉文化	①庶民や武士の活動が活発化し、鎌倉仏教が成立するなど、文化の新しい気運が生まれたことを理解する。 ②伝統的な公家文化の世界で、有職故実・古典研究などの学問が進展した背景を考察する。	1 2	
11	第7章 武家社会の成長			
	1 室町幕府の成立	①南北朝の動乱から室町幕府の成立と安定について、日本諸地域の動向などを踏まえて考察する。 ②琉球・蝦夷ヶ島を含む東アジアとの交流が中世日本にもたらした影響について理解する。	2 1 1	
	2 幕府の衰退と庶民の台頭	①庶民の活動が社会秩序の変革の原動力として成長していったことを踏まえて、幕府の動揺や下剋上の風潮を考察する。	2	

12	3	室町文化	②諸産業の発達による庶民の台頭を踏まえて、中世社会の多様な展開を幅広く理解する。	2	・定期考査 ・提出物
	4	戦国大名の登場	①武家政権の支配の進展や東アジア世界との交流に着目して、武家文化と公家文化および、大陸文化と伝統文化の関わりについて理解する。	1	
			②庶民文化の萌芽や、応仁の乱を契機とした文化の地方伝播、戦国大名の保護による文化の地方普及を理解する。	2	
		第8章 近世の幕開け	①応仁の乱以降、地方権力として登場した戦国大名や各地に展開した都市について、諸地域の地理的条件と関連づけて考察する。		
	1	織豊政権			
			①大航海時代と呼ばれる世界史的背景を踏まえて、ヨーロッパ人の東アジアへの進出とその影響を考察する。	2	
			②織田信長の統一事業、豊臣秀吉の天下統一、秀吉の朝鮮侵略と続く織豊政権の特色と意義、その後の時代への影響について理解する。	2	
	2	桃山文化	①新興の大名や都市の豪商の精神を反映した桃山文化について、町衆の生活にも着目し時代的背景を踏まえて考察する。		
			②中世から近世への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。	2	
		第9章 幕藩体制の成立と展開			
	1	幕藩体制の成立	①江戸幕府の成立による幕藩体制の確立過程を理解する。	2	
			②江戸幕府の鎖国政策について、単なる対外貿易の遮断ではないことを理解し、鎖国後の貿易関係の在り方も含めてその影響と歴史的意義について考察する。	2	
1	2	幕藩社会の構造	①幕藩体制の確立期の経済・社会を、兵農分離や村落・都市支配などの観点から、多面的・多角的に考察する。	1	・単元テスト ・ワークシート ・グループ学習
	3	幕政の安定	②被支配身分の特質や、周縁部分に生きる人々の社会的役割について理解する。	2	
			①17世紀後半から18世紀前半までの江戸幕府の安定期について、その平和と秩序の確立の視点で考察する。	2	
			②諸藩における政治の安定化や刷新について、その特色を理解する。	2	
	4	経済の発展	①幕藩体制の安定期の農業・商工業などの発展について、諸産業相互の関係やその社会的役割を踏まえて考察する。		
2			②全国市場の確立や都市の発達で商品流通が拡大し、各地で風土に応じた特産物が生まれたことを理解する。	2	- 定期考査 ・提出物
	5	元禄文化	①経済の発展と関連して町人文化が形成されたことについて町人の社会的台頭や幕藩体制の安定と関連させて理解する。	1	
			②儒学の特色を理解し、その発達が他の学問に与えた影響を考察する。	1	

3	第10章 幕藩体制の動揺		
	1 幕政の改革	① 農村や都市の変容により幕藩体制が動揺する中、幕府や諸藩がおこなった諸改革の意義とその影響を考察する。 ②幕府や藩の支配に対しておこなわれた百姓一揆や、都市の打ちこわしの実態について理解する。	2 1
	2 宝暦・天明期の文化	①江戸中期に確立した洋学や国学、新たなかたちで展開する文学・芸能・美術について、社会の変容にともなう幕藩体制の動揺と関連づけて考察する。 ②幕府や藩による武士の教育に加え、民間でも私塾や寺子屋が開かれた背景について理解する。	1 1
	3 幕府の衰退と近代への道	① 欧米諸国のアジア進出による国際情勢の変化やそれに対する幕政の対処を踏まえて幕府の衰退過程を理解する。 ②近代化の基盤の形成について、産業経済面や軍事面などに着目して、雄藩の浮上という地方からの視点から考察する。	1 1
	4 化政文化	①化政文化について、学問・思想・教育・文学・美術・生活文化の新たな展開に着目し、江戸と地方の文化的交流にも留意して考察する。 ②都市の民衆を中心とする芸能などが盛んになったことを理解する。	1 1